

「全鍍連」 2023年 4月号 巻頭言

全鍍連 技術委員長 小林 明洋 (株)小林工業所 代表取締役社長)

「電気めっきガイドの改訂」



春分の候、組合員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は何かと当会の運営にご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。

野球世界大会の最高峰であるワールド・ベースボール・クラシックの第5回大会が2023年3月に開催されます。第1回大会は2006年に開催され、王監督のもと日本代表が初代王者に輝きました。全鍍連4月号が発刊する頃には既に試合結果が判明しているかと思いますが、今大会も侍ジャパンの活躍に期待を膨らませております。

さて、弊社発行の電気めっきガイドも2006年版が刊行されてから16年が経過しました。昨年5月より技術委員会を中心に電気めっきガイドの改訂版の製作に取り組んでおり、現在は最終確認の段階まで進んでおります。資料提供や執筆、編集等にご協力いただいた会員各社の皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

この16年間には、電気や機械、通信、エネルギー等の分野では技術革新が進み、増加する需要に支えられて半導体は好況が続きました。それに関連する電子部品の生産も高水準に推移しました。今後もDX需要が上向く情報や通信、IT関連と自動化や省力化に対応する投資に力を入れている産業機械や精密機械は追い風が予想されています。今回の改訂版では、こうした現状を反映させ、三価クロムの化成処理や亜鉛合金めっきの内容をブラッシュアップし、工業用めっきとしての硬質クロムめっき、無電解ニッケルめっき、エレクトロニクスへの応用を個々の項目として独立させました。

基盤技術であるめっきは、代表的な特性である装飾や防錆、耐摩耗性はもとより、機械的特性や電気的特性、光的特性、熱的特性、物理的特性、化学的特性等の機能を向上させることにより、社会に貢献しております。電気めっきガイドが示す統一的な視点や考え方により、めっきを理解できる本として、様々な業界の製品設計や製品開発に関わる顧客先の皆様にお役に立てると信じています。

日進月歩であるめっき技術の現状を網羅した電気めっきガイドを皆様にご活用いただけることで少しでも業界の発展に寄与できればと考えております。